

東金市の祭りと伝統芸能

提供学科：国際文化学科

○目的：

人びとは、神祭りの場を介して、生活の中で失われた活力が回復され、日常に戻っていきます。このような意味のある祭りも、地域によっては、参加者が減少し、かつての賑わいが失われ、祭りをすることもできなくなりつつあるところも見受けられるようになってきました。本プロジェクトの対象となっている日吉神社連合祭典も、最盛期の賑わいは失われてしまったとおっしゃる方もいらっしゃいます。

そこで、本プロジェクトでは、連合祭典に参加し、祭りのエネルギーを体験し、現状の問題点に触れ、その解決法を探ることを目的とします。



◎ 実施内容

- ・東金市日吉神社にて参拝
 - ①宮司より日吉神社の成り立ちや日吉神社連合祭典の歴史等を学ぶ
 - ②日吉神社連合祭典にかかわっている氏子総代ほか、祭典の中心となる人々に対しての聞き取り調査を実施
 - ③日吉神社連合祭典運営上の課題の整理
- ・東金市岩崎区の方々との交流
 - ①日吉神社連合祭典の準備について学ぶ
 - ②お囃子の見学 / 体験
- ・日吉神社連合祭典への参加 (10月5日、6日)
 - ①祭り自体の体感
 - ②地域の方々との交流
 - ③当該祭典に関する問題点の調査

○学びの効果：

伝統芸能について、その歴史や成り立ち、意味合いなどを実際に関わっている人々から聞き、それらが地域にどのように根付いているのかを理解することができました。また、地域内の人と人の関わりが、「地域」を1つのまとまりのある集団たらしめている上で、とても重要な役割を果たしていることも理解できました。

そして、実際に日吉神社連合祭典に深く関わることによって、全国的に廃れつつある地域の「祭祀」の重要性を再認識することが若い世代の心の中にも醸造されたかと思います。